Nikon

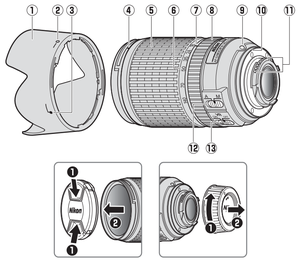
NIKKOR

AF-S DX NIKKOR 18–140mm f/3.5–5.6G ED VR

Jp 使用説明書
En User's Manual
Fr Manuel d'utilisation
Es Manual del usuario
Sc 使用说明书
Pb Manual do usuário
Kr 사용설명서

Printed in China
SB5J04(7C)
7MAA987C-04

NIKON CORPORATION



図/Figure/Figure/Imagen

日本語

このたびは DX ニッコールレンズをお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、カメラの使用説明書もご覧ください。

- このレンズは、DX フォーマットのニコンデジタル一眼レフカメラ（D7100、D5200 など）用です。DX フォーマットでの撮影画角は、35 mm 判換算で約 1.5 倍の焦点距離に相当する画角になります。

■ 安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用し、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

おfar りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止の行為（してはいけないこと）を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制することを告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はバッテリーを取り出す）が描かれています。

⚠ 警告

- 分解禁止：分解したり、修理や改造をしないこと。感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
- 接触禁止：落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと。感電したり、破損部でケガをする原因となります。カメラのバッテリー、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- すぐに修理依頼：熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかにカメラのバッテリーを取り出すこと。そのまま使用するとメ火災、やけどの原因となります。バッテリーを取り出す際、やけどに充分注意してください。バッテリーをすぐに修理依頼：抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- バッテリーを取る
- 水かけ禁止：水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと。発火したり感電の原因となります。
- 使用禁止：引火・爆発のおそれのある場所では使わない。プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどが引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。
- 使用禁止：レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと。失明や視力障害の原因となります。

⚠ 注意

- 感電注意：ぬれた手でさわらないこと。感電の原因になることがあります。
- 保管注意：製品は、幼児の手の届くところに置かない。ケガの原因になることがあります。
- 使用注意：逆光撮影では、太陽を画角から充分にずらすこと。太陽光がカメラ内部で焦点を結び、火災の原因になることがあります。画角から太陽をわずかに外しても火災の原因になることがあります。
- 保管注意：使用しないときは、レンズにキャップを付けるか、太陽光のあたらない所に保管すること。太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
- 移動注意：三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと。転倒したりぶつけたりして、ケガの原因になることがあります。
- 放置禁止：窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと。内部の部品に悪影響を与え、火災の原因になることがあります。

■ 各部の名称（図）

① フード *
② フードセット指標
③ フード取り付け指標
④ フード着脱指標
⑤ ズームリング
⑥ 焦点距離目盛
⑦ 焦点距離目盛指標
⑧ フォーカスリング
⑨ レンズ着脱指標
⑩ レンズマウントゴムリング
⑪ CPU 信号接点
⑫ A-M 切り換えスイッチ
⑬ 手ブレ補正スイッチ

* 別売です。

■ ピント合わせの方法

カメラのフォーカスモードとレンズの A-M 切り換えスイッチの位置を変えることにより、ピント合わせの方法を選べます。
- カメラのフォーカスモードについては、カメラの使用説明書をご覧ください。

カメラのフォーカスモード	レンズのフォーカスモード	
	A	M
AF	オートフォーカス（マニュアルフォーカス*）	マニュアルフォーカス（フォーカスエイド可）
MF		

* カメラのフォーカスモードが AF-S のときのみ

オートフォーカス撮影
1 **カメラのフォーカスモードを AF（オートフォーカス）にセットする**
2 **レンズの A-M 切り換えスイッチを［A］にセットする**
3 **シャッターボタンを半押ししてピントを合わせて撮影する**

カメラのフォーカスモードが AF-S の場合は、オートフォーカスでピントが合った後、シャッターボタンを半押ししたままオートフォーカスリングを手で回転させると、手動でピントを調整できます。

ご注意
- オートフォーカス作動中は、フォーカスリングを回転させないでください。
- カメラのシャッターボタンの半押しや AF 作動（AF-ON）ボタンを再度操作するとオートフォーカスで撮影が可能となります。

マニュアルフォーカス撮影
1 **レンズの A-M 切り換えスイッチを［M］にセットする**
2 **フォーカスリングを回転させてピントを合わせて撮影する**

■広角・超広角レンズのオートフォーカス撮影について

次のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。このような場合は、マニュアルフォーカスでピントを合わせるか、フォーカスロックを利用してください。

背景に対してメインの被写体が小さい場合
フォーカスフレーム内に遠くの建物と近くの人物が混在する場合、背景にピントが合い、人物のピント精度が低下することがあります。

絵柄が細かい場合
背景に対して被写体が小さい場合や被写体と背景の明暗差が少ない場合は、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。

- お使いのカメラの使用説明書で「オートフォーカスが苦手な被写体」についての説明も参照してください。

■ ズーミングと被写界深度

撮影を行う場合は、ズームリングを回転させ（焦点距離が変化します）、構図を決めてからピント合わせを行ってください。プレビュー（絞り込み）機構を持つカメラでは、撮影前にファインダー内で被写界深度を確認できます。
- このレンズは、撮影距離が短くなるにしたがって焦点距離が短くなります。

■ 絞り値の設定

絞り値は、カメラ側で設定してください。

開放 F 値の変化
このレンズはズーミングにより、開放 F 値が最大 1⅓ 段変化します。ただし、露出を決める際に、F 値の変化量はカメラが自動的に補正しますので考慮する必要はありません。

■ カメラの内蔵フラッシュ使用時のご注意

- 撮影距離 0.6 m 以上で使用してください。
- ケラレを防止するために、レンズのフードは取り外して使用してください。
※カメラの内蔵フラッシュのクラレとは、フラッシュの光がレンズの先端でさえぎられて影になり、画像に欠ける現象です。

カメラ	ケラレなく撮影できる焦点距離と撮影距離
D7200/D7100/D7000/D300 シリーズ /D200/D100	• 焦点距離 18 mm では撮影距離 1.0 m 以上 • 焦点距離 24 mm 以上では制約なし
D90/D80/D50	• 焦点距離 18 mm では撮影距離 2.5 m 以上 • 焦点距離 24 mm では撮影距離 1.0 m 以上 • 焦点距離 35 mm 以上では制約なし
D5500/D5300/D5200/D5100/D5000/D3300/D3200/D3100/D3000/D70 シリーズ /D60/D40 シリーズ	• 焦点距離 24 mm 以上では撮影距離 1.0 m 以上 • 焦点距離 35mm 以上では制約なし

- このレンズをカメラに取り付けたときのケラレの最新情報は、カメラの使用説明書でご確認ください。

■ 手ブレ補正機能

手ブレ補正機能を使用すると、使わないときと比べ 4 段*（焦点距離 140mm、D300s 使用時）シャッタースピードを遅くして撮影できるため、シャッタースピードの選択範囲が広がり、幅広い領域で手持ち撮影が可能です。
※ CIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。また、手ブレ補正効果は、撮影者や撮影条件によって異なります。

手ブレ補正スイッチの使い方

ON：シャッターボタンを半押しすると、手ブレを補正します。ファインダー像のブレも補正するため、ピント合わせが容易で、フレーミングしやすくなります。
OFF：手ブレを補正しません。

手ブレ補正使用時のご注意
- シャッターボタンを半押し後、ファインダー像が安定してから撮影することをおすすめします。
- 手ブレ補正の原理上、シャッター レリーズ後にファインダー像がわずかに動くことがあります。異常ではありません。
- 流し撮りなどでカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手ブレ補正は機能しません。例えば、横方向に流し撮りすると、縦方向の手ブレだけが補正されます。
- 手ブレ補正中にカメラの電源を OFF にしたり、レンズを取り外したりしないでください（その状態でレンズを振るとカタカタ音がすることがあります。故障ではありません。カメラの電源スイッチを再度 ON にすれば、音は消えます）。内蔵フラッシュ搭載のカメラで、内蔵フラッシュ充電中は、手ブレ補正は行いません。
- 三脚を使用するときは、手ブレ補正スイッチを［**OFF**］にしてください。ただし、三脚を使っても雲台を固定しないときや、一脚を使用するときには、スイッチを［**ON**］にすることをおすすめします。

■ フードの使い方

画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護にも役立ちます。

取り付け方

- フード着脱指標（●）と フード取り付け指標（▲）を合わせて、フード着脱指標と フードセット指標（—○）が合うように回転させてください（●）。

- フード先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、フード取り付け指標（▲）付近を持って回転させてください。
- フードが正しく取り付けられないと画像にケラレを生じますのでご注意ください。
- 収納時はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。

■ レンズのお手入れと取り扱い上のご注意

- フードをレンズに装着した状態で、フードだけを持たないでください。
- CPU 信号接点は汚さないように注意ください。
- レンズマウントゴムリングが破損した場合は、そのまま使用せず販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- レンズ面の清掃は、ホコリを拭う程度にしてください。指紋がついたときは、柔らかい清潔な木綿の布に無水アルコール（エタノール）または市販のレンズクリーナーを少量湿らせ、レンズの中心から外周へ渦巻状に、拭き残し、拭き残りのないように注意して拭いてください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐためには、NC フィルターをお使いいただけます。また、レンズのフードも役立ちます。
- レンズをケースに入れるときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高湿多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、ナフタリンや樟脳のあるところも避けてください。
- レンズをおdown 薬品などの揮発性物質の近くに置かないでください。極端に湿度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。

■ 付属アクセサリー

- 67 mm スプリング式レンズキャップ LC-67
- 裏ぶた LF-4

■ 使用できるアクセサリー

- 67 mm ネジ込み式フィルター
- バヨネットフード HB-32
- ソフトケース CL-1018

■ 仕様

型式	ニコン F マウント CPU 内蔵 G タイプ、AF-S DX レンズ
焦点距離	18 mm — 140 mm
最大口径比	1：3.5—5.6
レンズ構成	12 群 17 枚（ED レンズ 1 枚、非球面レンズ 1 枚）
画角	76°—11° 30′
焦点距離目盛	18、24、35、50、70、140 mm
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能
ズーミング	ズームリングによる回転式
ピント合わせ	IF（ニコン内蔵）方式、超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能
手ブレ補正	ボイスコイルモーター（VCM）によるレンズシフト方式
最短撮影距離	撮像面から 0.45 m（ズーム全域）
絞り羽根枚数	7 枚（円形絞り）
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲	• **焦点距離 18 mm 時**：f/3.5—22 • **焦点距離 140 mm 時**：f/5.6—38 ※カメラの露出値設定のステップ幅により、最小絞り値の表示が異なる場合があります。
測光方式	開放測光
アタッチメントサイズ	67 mm（P=0.75 mm）
寸法	約 78 mm（最大径）× 97 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで）
質量	約 490 g

※ 仕様、外観の一部を、改善のため予告なく変更することがあります。

English

Thank you for your purchase of a DX NIKKOR lens. Before using this product, please carefully read both these instructions and the camera manual.

Note: DX lenses are for use with DX-format digital single-lens reflex cameras such as the D7100 or D5200. The angle of view of a lens on a DX-format camera is equivalent to that of a lens with a focal length about 1.5 × longer mounted on a 35 mm format camera.

For Your Safety

⚠ **CAUTIONS**

- ***Do not disassemble***. Touching the internal parts of the camera or lens could result in injury. In the event of malfunction, the product should be repaired only by a qualified technician. Should the product break open as the result of a fall or other accident, remove the camera battery and/or disconnect the AC adapter and then take the product to a Nikon-authorized service center for inspection.
- ***Turn the camera off immediately in the event of malfunction***. Should you notice smoke or an unusual smell coming from the equipment, immediately unplug the AC adapter and remove the camera battery, taking care to avoid burns. Continued operation could result in fire or injury. After removing the battery, take the equipment to a Nikon-authorized service center for inspection.
- ***Do not use in the presence of flammable gas***. Operating electronic equipment in the presence of flammable gas could result in explosion or fire.
- ***Do not look at the sun through the lens or the camera viewfinder***. Viewing the sun or other bright light source through the lens or viewfinder could cause permanent visual impairment.
- ***Keep out of reach of children***. Failure to observe this precaution could result in injury.
- ***Observe the following precautions when handling the lens and camera***:
  - Keep the lens and camera dry. Failure to observe this precaution could result in fire or electric shock.
  - Do not handle the lens or camera with wet hands. Failure to observe this precaution could result in electric shock.
  - Keep the sun well out of the frame when shooting backlit subjects. Sunlight focused into the camera when the sun is in or close to the frame could cause a fire.
  - If the lens will not be used for an extended period, attach the front and rear lens caps and store the lens out of direct sunlight. If left in direct sunlight, the lens could focus the sun's rays onto flammable objects, causing fire.
- ***Do not carry tripods with a lens or camera attached***. You could trip or accidentally strike others, resulting in injury.
- ***Do not leave the lens where it will be exposed to extremely high temperatures, such as in an enclosed automobile or in direct sunlight***. Failure to observe this precaution could adversely affect the lens' internal parts, causing fire.

Notice for customers in Canada

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

■ Parts of the Lens (Figure)

① Lens hood *
② Lens hood lock mark
③ Lens hood alignment mark
④ Lens hood mounting mark
⑤ Zoom ring
⑥ Focal length scale
⑦ Focal length mark
⑧ Focus ring
⑨ Lens mounting mark
⑩ Rubber lens-mount gasket
⑪ CPU contacts
⑫ A-M mode switch
⑬ Vibration reduction ON/OFF switch

* Optional.

■ Focus

Focus mode is determined by the camera focus mode and the position of the lens A-M mode switch. See the camera manual for information on camera focus mode selection.

Camera focus mode	Lens focus mode	
	A	M
AF	Autofocus (manual focus *)	Manual focus with electronic rangefinder
MF	—	

* Available only when single-servo AF (AF-S) is selected as the camera focus mode.

Autofocus

1 Set the camera to AF (autofocus).
2 Slide the lens A-M mode switch to **A**.
3 **Focus.**
Press the shutter-release button halfway to focus. In single-servo AF (AF-S), focus can be adjusted by keeping the shutter-release button pressed halfway after the autofocus operation is complete and manually rotating the focus ring. Do not rotate the focus ring until the autofocus operation is complete. To refocus using autofocus, press the shutter release button halfway or press the **AF-ON** button again.

Manual Focus

1 Slide the lens A-M mode switch to **M**.
2 **Focus.**
Focus manually using the lens focus ring.

■ A Note on Wide- and Super Wide-Angle Lenses

Autofocus may not provide the desired results in situations like those shown below. In these cases, use manual focus, or use focus lock to focus on another subject at the same distance and then recompose the photograph.

Objects in the background occupy more of the focus point than the main subject: If the focus point contains both foreground and background objects, the camera may focus on the background and the subject may be out of focus.

The subject contains many fine details: The camera may have difficulty focusing on subjects that lack contrast or appear smaller than objects in the background.

For more information, see "Getting Good Results with Autofocus" in the camera manual.

■ Zoom and Depth of Field

Before focusing, rotate the zoom ring to adjust the focal length and frame the photograph. If the camera offers depth-of-field preview (stop down), depth of field can be previewed in the viewfinder.

Note: Focal length decreases as the focus distance shortens.

■ Aperture

Aperture is adjusted using camera controls.

Zoom and Maximum Aperture

Changes to zoom can alter the maximum aperture by up to 1⅓ EV. The camera however automatically takes this into account when setting exposure, and no modifications to camera settings are required following adjustments to zoom.

■ Built-in Flash Units

When using the built-in flash on cameras equipped with a built-in flash unit, shoot at ranges of 0.6 m (2 ft) or more and remove the lens hood to prevent vignetting (shadows created where the end of the lens obscures the built-in flash).

Camera	Focal length	Use at ranges of
D7200/D7100/D7000/D300 series/D200/D100	18 mm	1.0 m/3 ft 4 in. or more
	24 mm or more	No restrictions
D90/D80/D50	18 mm	2.5 m/8 ft 3 in. or more
	24 mm	1.0 m/3 ft 4 in. or more
	35 mm or more	No restrictions
D5500/D5300/D5200/D5100/D5000/D3300/D3200/D3100/D3000/D70 series/D60/D40 series	24 mm or more	1.0 m/3 ft 4 in. or more
	35 mm or more	No restrictions

For the latest information on vignetting with this lens, see the camera manual.

■ Vibration Reduction (VR)

Vibration reduction (VR) reduces blur caused by camera shake, allowing shutter speeds up to 4 stops slower than would otherwise be the case (measured at 140 mm with a D300s camera according to **C**amera and **I**maging **P**roducts **A**ssociation [CIPA] standards; effects vary with the photographer and shooting conditions). This increases the range of shutter speeds available and permits hand-held, tripod-free photography in a wide range of situations.

Using the Vibration Reduction ON/OFF Switch

- **Select ON to enable vibration reduction.** Vibration reduction is activated when the shutter-release button is pressed halfway, reducing the effects of camera shake for improved framing and focus.
- **Select OFF to turn vibration reduction off.**

Using Vibration Reduction: Notes

- When using vibration reduction, press the shutter-release button halfway and wait for the image in the viewfinder to stabilize before pressing the shutter-release button the rest of the way down.
- When vibration reduction is active, the image in the viewfinder may be blurred after the shutter is released. This does not indicate a malfunction.
- When the camera is panned, vibration reduction applies only to motion that is not part of the pan (if the camera is panned horizontally, for example, vibration reduction will be applied only to vertical shake), making it much easier to pan the camera smoothly in a wide arc.
- Do not turn the camera off or remove the lens while vibration reduction is in effect. If power to the lens is cut while vibration reduction is on, the lens may rattle when shaken. This is not a malfunction, and can be corrected by reattaching the lens and turning the camera on.
- If the camera is equipped with a built-in flash, vibration reduction will be disabled while the flash charges.
- Select **OFF** when the camera is mounted on a tripod unless the tripod head is unsecured or the camera is mounted on a monopod, in which case **ON** is recommended.

■ The Lens Hood

The lens hoods protect the lens and block stray light that would otherwise cause flare or ghosting.

Attaching the Hood

Align the lens hood mounting mark (●) with the lens hood alignment mark (▲) and then rotate the hood (❷) until the ● mark is aligned with the lens hood lock mark (—○).

When attaching or removing the hood, hold it near the ▲ symbol on its base and avoid gripping it too tightly. Vignetting may occur if the hood is not correctly attached.

The hood can be reversed and mounted on the lens when not in use.

■ Lens Care

- Do not pick up or hold the lens or camera using only the lens hood.
- Keep the CPU contacts clean.
- Should the rubber lens-mount gasket be damaged, cease use immediately and take the lens to a Nikon-authorized service center for repair.
- Use a blower to remove dust and lint from the lens surfaces. To remove smudges and fingerprints, apply a small amount of ethanol or lens cleaner to a soft, clean cotton cloth or lens-cleaning tissue and clean from the center outwards using a circular motion, taking care not to leave smears or touch the glass with your fingers.
- Never use organic solvents such as paint thinner or benzene to clean the lens.
- The lens hood or NC filters can be used to protect the front lens element.
- Attach the front and rear caps before placing the lens in its flexible pouch.
- If the lens will not be used for an extended period, store it in a cool, dry location to prevent mold and rust. Do not store in direct sunlight or with naphtha or camphor moth balls.
- Keep the lens dry. Rusting of the internal mechanism can cause irreparable damage.
- Leaving the lens in extremely hot locations could damage or warp parts made from reinforced plastic.

■ Supplied Accessories

- 67 mm snap-on Front Lens Cap LC-67
- Rear Lens Cap LF-4

■ Compatible Accessories

- 67 mm screw-on filters
- Bayonet Hood HB-32
- Flexible Lens Pouch CL-1018

■ Specifications

Type	Type G AF-S DX lens with built-in CPU and F mount
Focal length	18 – 140 mm
Maximum aperture	f/3.5 – 5.6
Lens construction	17 elements in 12 groups (including 1 ED lens element, 1 aspherical lens element)
Angle of view	76° – 11° 30′
Focal length scale	Graduated in millimeters (18, 24, 35, 50, 70, 140)
Distance information	Output to camera
Zoom	Manual zoom using independent zoom ring
Focusing	Nikon **I**nternal **F**ocusing (IF) System with autofocus controlled by Silent Wave Motor and separate focus ring for manual focus
Vibration reduction	Lens shift using **v**oice **c**oil **m**otors (VCMs)
Minimum focus distance	0.45 m (1.48 ft) from focal plane at all zoom positions
Diaphragm blades	7 (rounded diaphragm opening)
Diaphragm	Fully automatic
Aperture range	• **18 mm focal length**: f/3.5 – 22 • **140 mm focal length**: f/5.6 – 38 The minimum aperture displayed may vary depending on the size of the exposure increment selected with the camera.
Metering	Full aperture
Filter-attachment size	67 mm (P = 0.75 mm)
Dimensions	Approx. 78 mm maximum diameter × 97 mm (distance from camera lens mount flange)
Weight	Approx. 490 g (17.3 oz)

Nikon reserves the right to change the specifications of the hardware described in this manual at any time and without prior notice.

Français

Nous vous remercions d'avoir acheté un objectif DX NIKKOR. Avant d'utiliser ce produit, veuillez lire attentivement à la fois ces instructions et le manuel de l'appareil photo.

Remarque: Les objectifs DX sont destinés aux reflex numériques de format DX, comme le D7100 ou le D5200. L'angle de champ d'un objectif fixé sur un appareil photo de format DX est égal à environ 1,5 × celui d'un objectif fixé sur un appareil photo 24x36 mm.

Pour votre sécurité

⚠ **ATTENTION**

- ***Ne pas démonter.*** Toucher les parties internes de l'appareil photo ou de l'objectif peut provoquer des blessures. En cas de dysfonctionnement, le produit devra être réparé par un technicien qualifié uniquement. Si le produit s'ouvre à cause d'une chute ou de tout autre accident, retirez l'accumulateur de l'appareil photo et/ou débranchez l'adaptateur secteur et confiez le produit à un centre Nikon agréé pour le faire vérifier.
- ***Mettre immédiatement l'appareil hors tension en cas de dysfonctionnement.*** Si vous détectez de la fumée ou une odeur inhabituelle provenant de l'équipement, débranchez immédiatement l'adaptateur secteur et retirez l'accumulateur de l'appareil photo, tout en prenant soin de ne pas vous brûler. Poursuivre son utilisation peut provoquer un incendie ou des blessures. Après avoir retiré l'accumulateur, confiez l'équipement à un centre Nikon agréé pour le faire vérifier.
- ***Ne pas utiliser en présence de gaz inflammable.*** L'utilisation d'équipement électronique en présence d'un gaz inflammable peut provoquer une explosion ou un incendie.
- ***Ne pas regarder le soleil avec l'objectif ou le viseur de l'appareil photo.*** Regarder le soleil ou toute autre source lumineuse intense avec l'objectif ou le viseur peut provoquer des troubles de la vision irréversibles.
- ***Tenir éloigné des enfants.*** Le non-respect de cette précaution peut provoquer des blessures.
- ***Suivre les précautions ci-dessous lors de la manipulation de l'objectif et de l'appareil photo*** :
  - Tenir l'objectif et l'appareil photo au sec. Le non-respect de cette précaution peut provoquer un incendie ou un choc électrique.
  - Ne pas manipuler l'objectif ou l'appareil photo avec des mains mouillées. Le non-respect de cette précaution peut provoquer un choc électrique.
  - Ne pas inclure le soleil dans le cadrage lors de la prise de vue de sujets en contre-jour. La concentration de la lumière du soleil dans l'appareil photo lorsque le soleil est dans ou à proximité du champ de l'image peut provoquer un incendie.
  - Si vous n'avez pas l'intention d'utiliser l'objectif pendant une période prolongée, fixez les bouchons avant et arrière et rangez l'objectif hors de la lumière directe du soleil. Si l'objectif est laissé en contact direct avec la lumière du soleil, les rayons peuvent toucher des objets inflammables, provoquant ainsi un incendie.
- ***Ne pas porter un trépied sur lequel un objectif ou l'appareil photo est fixé.*** Vous risquerez de trébucher ou de frapper accidentellement des personnes, provoquant ainsi des blessures.
- ***Ne pas laisser l'objectif là où il serait exposé à des températures élevées, comme une voiture fermée ou à la lumière directe du soleil.*** Le non-respect de cette précaution peut avoir des répercussions sur les parties internes de l'objectif, pouvant provoquer un incendie.

Avis pour les clients au Canada

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

■ Parties de l'objectif (Figure)

① Parasoleil *
② Repère de verrouillage du parasoleil
③ Repère d'alignement du parasoleil
④ Repère de montage du parasoleil
⑤ Bague de zoom
⑥ Échelle des focales
⑦ Repère de l'échelle des focales
⑧ Bague de mise au point
⑨ Repère de montage de l'objectif
⑩ Joint en caoutchouc de la monture d'objectif
⑪ Contacts du microprocesseur
⑫ Commutateur de mode A-M
⑬ Commutateur ON/OFF de réduction de vibration

* Optionnel.

■ Mise au point

Le mode de mise au point est déterminé par le mode de mise au point de l'appareil photo et la position du commutateur de mode A-M de l'objectif. Reportez-vous au manuel de l'appareil photo pour plus d'informations sur la sélection du mode de mise au point de l'appareil photo.

Mode de mise au point de l'appareil photo	Mode de mise au point de l'objectif	
	A	M
AF	Autofocus (mise au point manuelle *)	Mise au point manuelle avec télémètre électronique
MF	—	

* Disponible uniquement lorsque AF ponctuel (AF-S) est sélectionné comme mode de mise au point sur l'appareil photo.

Autofocus

1 Réglez l'appareil photo sur AF (autofocus).
2 Positionnez le commutateur de mode A-M de l'objectif sur **A**.
3 Effectuez la mise au point.
Appuyez sur le déclencheur à mi-course pour effectuer la mise au point. En mode AF ponctuel (AF-S), vous pouvez ajuster la mise au point en maintenant le déclencheur appuyé à mi-course une fois l'opération d'autofocus terminée et en tournant manuellement la bague de mise au point. Ne tournez pas la bague de mise au point tant que l'opération d'autofocus n'est pas terminée. Pour refaire le point à l'aide de l'autofocus, appuyez à nouveau sur le déclencheur à mi-course ou sur la commande **AF-ON**.

Mise au point manuelle

1 Positionnez le commutateur de mode A-M de l'objectif sur **M**.
2 Effectuez la mise au point.
Effectuez la mise au point manuellement en utilisant la bague de mise au point de l'objectif.

■ Remarque relative aux objectifs grand-angle et ultra grand-angle

L'autofocus risque de ne pas produire les résultats escomptés dans des situations semblables à celles décrites ci-dessous. Dans ce cas, effectuez la mise au point manuellement ou mémorisez-la pour mettre au point un autre sujet situé à la même distance, puis recomposer la photo.

Les objets de l'arrière-plan occupent une plus grande partie du point AF que le sujet principal : si le point AF contient à la fois des objets du premier plan et de l'arrière-plan, l'appareil photo peut effectuer la mise au point sur l'arrière-plan et par conséquent, le sujet risque d'être flou.

Le sujet contient trop de petits détails : l'appareil photo risque d'avoir des difficultés à faire le point sur des sujets manquant de contraste ou qui paraissent plus petits que les objets de l'arrière-plan.

Pour plus d'informations, reportez-vous à la section « Optimisation des résultats avec l'autofocus » dans le manuel de l'appareil photo.

■ Zoom et profondeur de champ

Avant de faire la mise au point, tournez la bague de zoom pour régler la focale et cadrer la photographie. Si l'appareil photo offre un aperçu de la profondeur de champ (fermeture du diaphragme), il est possible d'avoir un aperçu de la profondeur de champ dans le viseur.

Remarque: la focale diminue au fur et à mesure que la distance de mise au point se raccourcit.

■ Ouverture

Pour régler l'ouverture, utilisez les commandes de l'appareil photo.

Zoom et ouverture maximale

Modifier le zoom peut altérer l'ouverture maximale jusqu'à 1⅓ L. L'appareil photo prend cela automatiquement en compte lors du réglage de l'exposition et aucune modification des réglages de l'appareil photo n'est nécessaire après les ajustements du zoom.

■ Flash intégré

Lors de l'utilisation du flash intégré (pour les appareils photo équipés d'un flash intégré), photographiez à des distances de 0,6 m ou plus et retirez le parasoleil pour éviter l'effet de vignettage (ombres créées lorsque l'extrémité de l'objectif occulte le flash intégré).

Appareil photo	Focale	Utiliser à des distances de
D7200/D7100/D7000/gamme D300/D200/D100	18 mm	1,0 m ou plus
	24 mm ou plus	Aucune restriction
D90/D80/D50	18 mm	2,5 m ou plus
	24 mm	1,0 m ou plus
	35 mm ou plus	Aucune restriction
D5500/D5300/D5200/D5100/D5000/D3300/D3200/D3100/D3000/gamme D70/D60/gamme D40	24 mm ou plus	1,0 m ou plus
	35 mm ou plus	Aucune restriction

Pour obtenir les dernières informations sur le vignettage avec cet objectif, reportez-vous au manuel de l'appareil photo.

■ Réduction de vibration (VR)

La fonction de réduction de vibration (VR) atténue les phénomènes de flou provoqués par le bougé de l'appareil photo, ce qui permet de recourir à des vitesses d'obturation jusqu'à 4 fois plus lentes que celles normalement utilisées (mesures effectuées à 140 mm avec un appareil photo D300s, selon les normes de la CIPA (**C**amera and **I**maging **P**roducts **A**ssociation) ; les effets varient selon le photographe et les conditions de prise de vue). Cela augmente la plage des vitesses d'obturation disponibles et permet de prendre des photos à main levée, sans trépied, dans de nombreuses situations.

Utilisation du commutateur ON/OFF pour la réduction de vibration

- **Sélectionnez ON (ACTIVÉ) pour activer la réduction de vibration.** La réduction de vibration est activée lorsque vous appuyez à mi-course sur le déclencheur, réduisant ainsi les effets du bougé d'appareil pour vous permettre d'améliorer le cadrage et la mise au point.
- **Sélectionnez OFF (DÉSACTIVÉ) pour désactiver la réduction de vibration.**

Utiliser la réduction de vibration : Remarques

- Lorsque vous utilisez la réduction de vibration, appuyez sur le déclencheur à mi-course et attendez que l'image se stabilise dans le viseur avant d'appuyer sur le déclencheur jusqu'en fin de course.
- Lorsque la réduction de vibration est activée, l'image dans le viseur peut être floue une fois le déclencheur relâché. Cela n'indique pas un dysfonctionnement.
- Lorsque l'appareil photo est en mode panoramique, la réduction de vibration s'applique uniquement au mouvement ne faisant pas partie du panoramique (si l'appareil photo est en mode panoramique horizontal par exemple, la réduction de vibration s'applique uniquement au mouvement vertical), ce qui est plus facile pour faire un panoramique régulier en un arc large.
- Ne mettez pas l'appareil photo hors tension et ne retirez pas l'objectif pendant que la réduction de vibration est activée. Si l'alimentation de l'objectif est coupée alors que la réduction de vibration est activée, l'objectif peut vibrer s'il est secoué. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement et cela peut être corrigé en réfixant l'objectif et en mettant l'appareil photo sous tension.
- Si l'appareil photo est équipé d'un flash intégré, la réduction de vibration est désactivée pendant que le flash se charge.
- Sélectionnez **OFF** lorsque l'appareil photo est monté sur un trépied sauf si la tête du trépied n'est pas fixée ou si l'appareil est monté sur un monopode ; dans ce cas, **ON** est recommandé.

■ Parasoleil

Le parasoleil protège l'objectif et bloque la lumière diffuse pouvant causer de la lumière parasite ou une image fantôme.

Fixation du parasoleil

Alignez le repère de montage du parasoleil (●) sur le repère d'alignement du parasoleil (▲), puis tournez le parasoleil (❷) jusqu'à ce que le repère ● soit aligné sur le repère de verrouillage du parasoleil (—○).

Lors de la fixation ou du retrait du parasoleil, tenez-le près du symbole ▲ sur sa base, et évitez de le serrer trop fermement. Un vignettage peut se produire si le parasoleil n'est pas correctement attaché.

Le parasoleil peut être retourné et monté sur l'objectif lorsqu'il n'est pas utilisé.

■ Entretien de l'objectif

- Ne prenez pas ou ne tenez pas l'objectif ou l'appareil photo en saisissant uniquement le parasoleil.
- Maintenez les contacts du microprocesseur propres.
- Si le joint en caoutchouc de la monture d'objectif est endommagé, cessez immédiatement l'utilisation et confiez l'objectif à un centre Nikon agréé pour le faire réparer.
- Utilisez une soufflette pour enlever la poussière et les peluches sur la surface de l'objectif. Pour effacer les taches

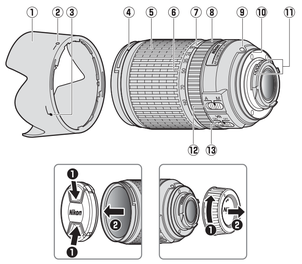
Nikon

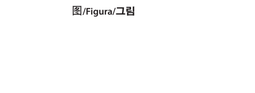
NIKKOR

AF-S DX NIKKOR 18–140mm f/3.5–5.6G ED VR

Sc 使用说明书
Pb Manual do usuário
Kr 사용설명서
Jp 使用説明書
En User's Manual
Fr Manuel d'utilisation
Es Manual del usuario

NIKON CORPORATION





图/Figura/그림

中文版（简体）

保留备用

使用产品前请仔细阅读本使用说明书。

感谢您购买 DX 尼克尔镜头。在使用本产品前，请仔细阅读这些指南和照相机的说明书。

注意：DX 镜头适用于 DX 格式数码单镜反光照相机（如 D7100 或 D5200）。DX 格式照相机上镜头的视角，相当于安装在 35 mm 格式照相机上焦距约为该镜头 1.5 倍的镜头的视角。

安全须知

请在使用前仔细阅读“安全须知”，并以正确的方法使用。本“安全须知”中记载了重要的内容，可使您能够安全、正确地使用产品，并预防对您或他人造成人身伤害或财产损失。请在阅读之后妥善保管，以便本产品的所有使用者可以随时查阅。

有关指示

本节中标注的指示和含义如下。

⚠ **警告** 表示若不遵守该项指示或操作不当，则有可能造成人员死亡或负重伤的内容。

⚠ **注意** 表示若不遵守该项指示或操作不当，则有可能造成人员伤害、以及有可能造成物品损害的内容。

本节使用以下图示和符号对必须遵守的内容作分类和说明。

图示和符号的实例

⚠ △ 符号表示唤起注意（包括警告）的内容。
在图示中或图示附近标有具体的注意内容（左图之例为当心触电）。

⃠ ⃠ 符号表示禁止（不允许进行的）的行为。
在图示中或图示附近标有具体的禁止内容（左图之例为禁止拆解）。

● ● 符号表示强制执行（必需进行）的行为。
在图示中或图示附近标有具体的强制执行内容（左图之例为取出电池）。

⚠ 警告

禁止拆解	**切勿自行拆解、修理或改装。** 否则将会造成触电、发生故障并导致受伤。
禁止触碰	**当产品由于跌落而破损使得内部外露时，切勿用手触碰外露部分。** 否则将会造成触电、或由于破损部分而导致受伤。取出照相机电池，并委托经销商或尼康授权的维修服务中心进行修理。
立即委托修理	**当发现产品变热、冒烟或发出焦味等异常时，请立刻取出照相机电池。** 若在此情况下继续使用，将会导致火灾或灼伤。取出电池时，请小心勿被烫伤。取出电池，并委托经销商或尼康授权的维修服务中心进行修理。
禁止接触水	**切勿浸入水中或接触到水，或被雨水淋湿。** 否则将会导致起火或触电。
禁止使用	**切勿在有可能起火、爆炸的场所使用。** 在有丙烷气、汽油、可燃性喷雾剂等易燃性气体、粉尘的场所使用产品，将会导致爆炸或火灾。
禁止观看	**切勿用镜头或照相机直接观看太阳或强光。** 否则将会导致失明或视觉损伤。

⚠ 注意

当心触电	**切勿用湿手触碰。** 否则将有可能导致触电。
禁止放置	**切勿在婴幼儿伸手可及之处保管产品。** 否则将有可能导致受伤。
小心使用	**进行逆光拍摄时，务必使太阳充分偏离视角。** 阳光会在照相机内部聚焦，并有可能导致火灾。太阳偏离视角的距离微小时，也有可能会导致火灾。
妥善保存	**不使用时请盖上镜头盖，或保存在没有阳光照射处。** 阳光会聚焦，并有可能导致火灾。
小心移动	**进行移动时，切勿将照相机或镜头安装在三脚架上。** 摔倒、碰撞时将有可能导致受伤。
禁止放置	**切勿放置于封闭的车辆中、直射阳光下或其它异常高温之处。** 否则将对内部零件造成不良影响，并导致火灾。

■ 镜头部件（图）

① 镜头遮光罩※
② 镜头遮光罩锁定标记
③ 镜头遮光罩对齐标记
④ 镜头遮光罩安装标记
⑤ 变焦环
⑥ 焦距刻度
⑦ 焦距标记
⑧ 对焦环
⑨ 镜头安装标记
⑩ 镜头卡口橡胶垫圈
⑪ CPU 接点
⑫ A-M 模式切换器
⑬ 减震 ON/OFF 开关

※ *另购。*

■ 对焦

对焦模式由照相机对焦模式和镜头 A-M 模式切换器的位置决定。有关选择照相机对焦模式的信息，请参阅照相机使用说明书。

照相机对焦模式	镜头对焦模式	
	A	M
AF	自动对焦（手动对焦 *）	带有电子测距仪的手动对焦
MF	—	

* 仅当照相机对焦模式选为单次伺服 AF（AF-S）时可用。

自动对焦

1 **将照相机设定为 AF（自动对焦）。**
2 **将镜头 A-M 模式切换器推至 A。**
3 **对焦。**
半按快门释放按钮进行对焦。单次伺服 AF（AF-S）模式下，在自动对焦操作完成后持续半按快门释放按钮并同时手动旋转对焦环可调整对焦。自动对焦操作完成之前请勿旋转对焦环。若要使用自动对焦以直至对焦，请再次半按快门释放按钮或再次按下 AF-ON 按钮。

手动对焦

1 **将镜头 A-M 模式切换器推至 M。**
2 **对焦。**
使用镜头对焦环进行手动对焦。

■ 关于广角和超广角镜头的注解

在如下所示的情况下，自动对焦可能无法达到预期效果。在这些情况下，请使用手动对焦，或使用对焦锁定对焦于相同距离的其他拍摄对象后再重新构图。

背景中的物体比主要拍摄对象占据更多的对焦点：若对焦点同时包含前景和背景物体，照相机可能对焦于背景，从而使拍摄对象不清晰。

拍摄对象包含很多细节性景物：照相机可能难以对焦于缺少对比度的拍摄对象或比背景中物体显得更小的拍摄对象。

有关详细信息，请参阅照相机说明书中的“利用自动对焦获取良好拍摄效果”。

■ 变焦和景深

对焦之前，请转动变焦环调整焦距并进行构图。若照相机支持景深预览（光圈缩小），则景深可在取景器中进行预览。

注意：焦距随对焦距离的缩短而减小。

■ 光圈

请使用照相机控制按钮调整光圈。

变焦和最大光圈

更改变焦可将最大光圈最多改变 1⅓EV。但是照相机在设定曝光时会自动考虑这个问题，调整变焦后无需修改照相机设定。

■ 内置闪光灯组件

当使用配备有一个内置闪光灯组件的照相机上的内置闪光灯时，请在距离拍摄对象至少 **0.6 m** 处进行拍摄，并取下镜头遮光罩以避免产生渐晕（因镜头末端遮挡内置闪光灯所产生的阴影）。

照相机	焦距	使用范围
D7200/D7100/D7000/D300 系列 /D200/D100	18 mm	1.0 m 或以上
	24 mm 或以上	无限制
D90/D80/D50	18 mm	2.5 m 或以上
	24 mm	1.0 m 或以上
	35 mm 或以上	无限制
D5500/D5300/D5200/D5100/D5000/D3300/D3200/D3100/D3000/D70 系列 /D60/D40 系列	24 mm 或以上	1.0 m 或以上
	35 mm 或以上	无限制

有关使用本镜头时的渐晕的最新信息，请参阅照相机说明书。

■ 减震（VR）

减震（VR）可减少照相机震动所引起的模糊，从而使快门速度可比一般情况时最多降低 4 级（使用 D300s 照相机在 140mm 处根据相机影像器材工业协会 [CIPA] 标准所测量；效果根据拍摄者和拍摄环境的不同而异）。因此，该功能增加了可用快门速度的范围，从而在很多情况下可以不使用三脚架而进行手持拍摄。

使用减震 ON/OFF 开关

- **选择 ON 启用减震。**减震将在您半按快门释放按钮时激活，从而减少照相机震动的影响以改善构图和对焦。
- **选择 OFF 关闭减震。**

使用减震：注意

- 使用减震时，请先半按快门释放按钮，然后待取景器中的图像稳定之后再完全按下快门释放按钮。
- 启用减震时，取景器中的图像在您释放快门后可能会变得模糊。这并非故障。
- 当照相机进行摇摄时，减震仅应用于非摇摄部分的动作（例如，若照相机进行水平摇摄，则减震将仅应用于垂直方向的震动），因而更易于以较大幅度平稳地转动照相机。
- 减震处于有效状态时，请勿关闭照相机。也不要取下镜头。若在减震处于有效状态时切断镜头电源，镜头在摇动时将可能发出嗡嗡声。这并非故障，重新安装镜头并开启照相机即可解决该问题。
- 若照相机配备有内置闪光灯，闪光灯充电时减震将无法使用。
- 照相机固定于三脚架时请选择 **OFF**（关闭），但是当三脚架云台不稳固或照相机固定于单脚架时推荐选择 **ON**（开启）。

■ 镜头遮光罩

镜头遮光罩可保护镜头并阻挡可能导致眩光或鬼影的散射光线。

安装遮光罩

将镜头遮光罩安装标记（●）与镜头遮光罩对齐标记（⌐¯）对齐，然后旋转遮光罩（❷）直至●标记与镜头遮光罩锁定标记（—○）对齐。

安装或取下遮光罩时，请在其底部的 ⌐¯ 符号附近将其握住，并避免握得太紧。若未正确安装好遮光罩，则可能会产生渐晕。

不使用时，可将遮光罩反转并固定在镜头上。

■ 镜头保养

- 拿起或持握镜头或照相机时，切勿仅持拿镜头遮光罩。
- 保持 CPU 接点清洁。
- 若镜头卡口橡胶垫圈损坏，请立即停止使用并将镜头送至尼康授权的维修服务中心进行维修。
- 用吹气球去除镜头表面的灰尘和浮屑。若要去除污点和指纹，可使用一块滴有少许乙醇或镜头清洁剂的干净软棉布或镜头清洁纸，以圆周运动方式从里向外进行清洁。注意不要留下污渍，也不要用手指碰触玻璃。
- 切勿使用涂料稀释剂或苯等有机溶剂清洁镜头。
- 镜头遮光罩或 NC 滤镜可用于保护前前镜头元件。
- 将镜头放入半软镜头袋之前，请盖好镜头前盖和镜头后盖。
- 若在较长时间内不使用镜头，请将其存放在阴凉干燥的地方以防止发霉和生锈。切不可存放在直射阳光下，也不可与石脑油或樟脑丸一起存放。
- 保持镜头干燥。内部构造生锈将导致无法挽回的损坏。
- 将镜头放置在过于炎热的地方将会使强化塑料部件受损或变形。
- 运输产品时，请在包装箱内装入足够多的缓冲材料，以减少（避免）由于冲击导致产品损坏。

■ 随附配件

- 67 mm 搭扣式镜头前盖 LC-67
- 镜头后盖 LF-4

■ 兼容的配件

- 67 mm 旋入式滤镜
- 卡口式镜头遮光罩 HB-32
- 半软镜头袋 CL-1018

■ 技术规格

类型	带内置 CPU 和 F 卡口的 G 型 AF-S DX 镜头
焦距	18 – 140 mm
最大光圈	f/3.5-f/5.6
镜头结构	12 组 17 片（包括 1 个 ED 镜头元件和 1 个非球面镜头元件）
视角	76° – 11° 30′
焦距刻度	以毫米为单位（18、24、35、50、70、140）
距离信息	输出到照相机
变焦	使用独立变焦环的手动变焦
对焦	尼康内部对焦（IF）系统（可进行由宁静波动马达控制的自动对焦，具备用于手动对焦的独立对焦环）
减震	使用音圈马达（VCM）的镜头位移
最近对焦距离	0.45 m（至焦平面，所有变焦位置）
光圈叶片	7 片（圆形光圈孔）
光圈	全自动
光圈范围	• **18 mm 焦距**：f/3.5 到 f/22 • **140 mm 焦距**：f/5.6 到 f/38 显示的最小光圈可能根据使用照相机所选曝光增量大小的不同而异。
测光	全开光圈测光
滤镜附件尺寸	67 mm（P = 0.75 mm）
尺寸	约 78 mm（最大直径）× 97 mm（从照相机镜头卡口边缘开始的距离）
重量	约 490 g

尼康公司保留可随时更改说明书内载之硬件规格的权利，而无须事先通知。

进口商：尼康映像仪器销售（中国）有限公司
（上海市茂名南路 205 号瑞金大厦 22 楼，200020）
尼康客户支持中心服务热线：400-820-1665
（周一至周日 9：00 – 18：00，除夕下午休息）
http://www.nikon.com.cn/

在中国印刷
出版日期：2015 年 10 月 1 日

产品中有害物质的名称及含量

标志	部件名称	有害物质					
		铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
10	外壳	○	○	○	○	○	○
	机械元件	×	○	○	○	○	○
	光学元件	○	○	○	○	○	○
	电子元件	×	○	○	○	○	○

本表格依据 SJ/T11364 的规定编制。

○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T26572 规定的限量要求以下。

×：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T26572 规定的限量要求。但是，以现有的技术条件要使照相机相关产品完全不含有上述有害物质极为困难，并且上述产品都包含在《关于电气电子设备中特定有含物质使用限制指令2011/65/EU》的豁免范围之内。

Português (Brasil)

Obrigado por comprar uma lente DX NIKKOR. Antes de usar este produto, leia cuidadosamente estas instruções e o manual da câmera.

Nota: as lentes DX são para uso com as câmeras digitais reflex de lente única com formato DX tal como a D7100 ou D5200. O ângulo de visão de uma lente em uma câmera de formato DX é equivalente àquele de uma lente com uma distância focal cerca de 1,5 × mais longa montada numa câmera de formato 35 mm.

Para sua segurança

⚠ **PRECAUÇÕES**

- ***Não desmonte***. Tocar nas partes internas da câmera ou lente poderá resultar em lesões. Em caso de avaria, o produto deve ser reparado apenas por um técnico qualificado. Caso o produto abra como resultado de uma queda ou outro acidente, retire a bateria da câmera e/ou desligue o adaptador AC e, em seguida, leve o produto à assistência técnica autorizada Nikon para inspeção.
- ***Desligue imediatamente a câmera em caso de avaria***. Se notar fumaça ou um odor estranho vindo do equipamento, desligue imediatamente o adaptador AC e remova a bateria da câmera, tomando cuidado para evitar queimaduras. A continuação da utilização poderá resultar em incêndio ou lesões. Depois de remover a bateria, leve o equipamento a uma assistência técnica autorizada Nikon para inspeção.
- ***Não use em presença de gás inflamável***. Operar equipamento eletrônico na presença de gás inflamável pode resultar em explosão ou incêndio.
- ***Não olhe para o sol através da lente ou do visor da câmera***. A observação do sol ou de outra fonte de luz intensa através da lente ou do visor pode causar incapacidade visual permanente.
- ***Mantenha afastado do alcance das crianças***. A não observância desta precaução poderá resultar em lesões.
- ***Observe as seguintes precauções quando manusear a lente ou a câmera***:
  - Mantenha a lente e a câmera secas. A não observância desta precaução poderá resultar em incêndio ou em choque elétrico.
  - Não manuseie a lente ou a câmera com mãos molhadas. A não observância desta precaução poderá resultar em choque elétrico.
  - Mantenha o sol bem fora do enquadramento quando fotografar assuntos em contraluz. A luz solar focada para a câmera quando o sol estiver dentro ou perto do enquadramento pode causar um incêndio.
  - Se a lente não vai ser utilizado por um longo período, coloque as tampas frontal e traseira e guarde a lente longe da luz solar direta. Se deixada à luz solar direta, a lente pode focar os raios do sol sobre objetos inflamáveis, provocando um incêndio.
- ***Não transporte tripés com uma lente ou uma câmera acoplada***. Poderá tropeçar ou atingir alguém acidentalmente, resultando em lesões.
- ***Não deixe a lente num local onde fique exposta a temperaturas extremamente altas, tais como num automóvel fechado ou sob a luz solar direta***. A não observância desta precaução poderá afetar adversamente as partes internas da lente, causando um incêndio.

Aviso para os Clientes no Canadá

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

■ Partes da lente (Figura)

① Parassol da lente *
② Marca de trava do parassol da lente
③ Marca de alinhamento do parassol da lente
④ Marca de montagem do parassol da lente
⑤ Anel do zoom
⑥ Escala de distância focal
⑦ Marca de distância focal
⑧ Anel de foco
⑨ Marca de montagem da lente
⑩ Gaxeta de borracha de fixação da lente
⑪ Contatos CPU
⑫ Chave do modo A-M
⑬ Chave liga/desliga da redução de vibração

* Opcional.

■ Foco

O jeito de focar é determinado pelo modo de foco da câmera e a posição da chave de modo da lente A-M. Veja o manual da câmera para informações sobre a seleção de modos de focar da câmera.

Modo de focar da câmera	Modo de focar da lente	
	A	M
AF	Foco automático (foco manual *)	Foco manual com telemetria eletrônica
MF	—	

* Apenas disponível quando AF de servo único (AF-S) estiver selecionado como o modo de foco da câmera.

Foco automático

1 Configura e câmera para AF (foco automático).
2 Deslize a chave do modo da lente A-M para **A**.
3 Focar.
Pressione o botão de liberação do obturador até a metade para focar. Em AF de servo único (AF-S), o foco pode ser ajustado mantendo o botão de liberação do obturador pressionado até a metade, depois que a operação de foco automático estiver completa, e girando manualmente o anel de foco. Não gire o anel de foco até que a operação de foco automático esteja completa. Para focar novamente usando o foco automático, pressione o botão de liberação do obturador até a metade ou pressione novamente o botão **AF-ON**.

Foco manual

1 Deslize a chave do modo da lente A-M para **M**.
2 Focar.
Focar manualmente usando o anel de foco da lente.

■ Uma nota sobre lentes de grande e de super grande angular

O foco automático poderá não fornecer os resultados desejados em situações tais como as mostradas abaixo. Nestes casos, use o foco manual, ou use a trava de foco para focar outro assunto na mesma distância e então recomponha a fotografia.

Objetos no fundo ocupam mais do ponto de foco do que o assunto principal: se o ponto de foco contém objetos em primeiro plano e no fundo, a câmera poderá focar o fundo e o assunto poderá ficar desfocado.

O assunto contém muitos detalhes delicados: a câmera poderá ter dificuldade em focar assuntos a que falte contraste ou que pareçam menores que objetos no fundo.

Para obter mais informações, consulte "Obter bons resultados com o foco automático" no manual da câmera.

■ Zoom e profundidade de campo

Antes de focar, gire o anel do zoom para ajustar a distância focal e enquadre a fotografia. Se a câmera oferecer visualização da profundidade de campo (stop down), a profundidade de campo pode ser visualizada no visor.

Nota: A distância focal diminui quando a distância de foco for mais curta.

■ Abertura

A abertura é ajustada usando os controles da câmera.

Zoom na abertura máxima

As alterações do zoom podem alterar a abertura máxima em até 1⅓ EV. No entanto a câmera leva isso em conta automaticamente ao definir a exposição, e não são necessárias nenhumas modificações nas configurações da câmera após ajustes de zoom.

■ Unidades de flash embutidas

Quando usar o flash embutido em câmeras equipadas com uma unidade de flash embutido, fotografe a distâncias de 0,6 m ou mais e remova o parassol da lente para evitar vinhetas (sombras criadas onde a extremidade da lente obscurece o flash embutido).

Câmera	Distância focal	Use a distâncias de
D7200/D7100/D7000/série D300/D200/D100	18 mm	1,0 m ou mais
	24 mm ou mais	Sem restrições
D90/D80/D50	18 mm	2,5 m ou mais
	24 mm	1,0 m ou mais
	35 mm ou mais	Sem restrições
D5500/D5300/D5200/D5100/D5000/D3300/D3200/D3100/série D70/D60/série D40	24 mm ou mais	1,0 m ou mais
	35 mm ou mais	Sem restrições

Para obter as últimas informações sobre vinheta com esta lente, consulte o manual da câmera.

■ Redução de vibração (VR)

A redução de vibração (VR) reduz o efeito de desfoque causado pela trepidação da câmera, permitindo velocidades do obturador até 4 pontos mais lentas do que seria sem este recurso (medições a 140 mm com uma câmera D300s de acordo com os padrões **C**amera and **I**maging **P**roducts **A**ssociation [CIPA]; os efeitos variam de acordo com o fotógrafo e condições de disparo). Isto aumenta a faixa de velocidades de obturador disponíveis e permite a fotografia à mão, sem tripé, numa ampla faixa de situações.

Utilização da chave Ligar/Desligar de redução de vibração

- **Selecione ON para ativar a redução de vibração.** A redução de vibração é ativada quando o botão de liberação do obturador é pressionado até a metade, reduzindo os efeitos da trepidação da câmera para melhor enquadramento e foco.
- **Selecione OFF para desativar a redução de vibração.**

Utilização da redução de vibração: notas

- Quando utilizar a redução de vibração, pressione o botão de liberação do obturador até a metade e espere que a imagem no visor estabilize antes de pressionar o botão de liberação do obturador até o fim.
- Quando a redução de vibração estiver ativa, a imagem no visor poderá aparecer desfocada depois de o obturador ser disparado. Isto não indica um mau funcionamento.
- Quando a câmera faz uma panorâmica, a redução de vibração só se aplica ao movimento que não faz parte da panorâmica (se a câmera fizer uma panorâmica horizontal, por exemplo, a redução de vibração será aplicada apenas à oscilação vertical), facilitando muito as panorâmicas suaves com a câmera em um arco amplo.
- Não desligue a câmera nem remova a lente enquanto a redução de vibração estiver em vigor. Se a alimentação da lente for interrompida enquanto a redução de vibração estiver ligada, a lente poderá chocalhar quando agitada. Isto não é um mau funcionamento, e pode ser corrigido reinstalando a lente e ligando a câmera.
- Se a câmera estiver equipada com um flash embutido, a redução de vibração será desativada enquanto o flash carrega.
- Selecione **OFF** (Desligado) quando a câmera é montada num tripé, a menos que a cabeça do tripé esteja insegura ou que a câmera esteja montada num monopé, caso em que **ON** (Ligado) é recomendado.

■ Parassol

O parassol protege a lente e bloqueia a luz difusa que de outra forma causaria refração ou fantasmas.

Acoplar o parassol

Alinhe a marca de fixação do parassol da lente (●) com a marca de alinhamento do parassol da lente (⌐¯) e depois gire o parassol (❷) até a marca ● ficar alinhada com a marca de trava do parassol da lente (—○).

Ao acoplar ou remover o parassol, segure-o perto do símbolo ⌐¯ na sua base e evite apertá-lo com força. Poderá ocorrer vinheta se o parassol não for corretamente acoplado.

O parassol pode ser invertido e montado na lente quando não estiver em uso.

■ Cuidados com a lente

- Não levante ou segure a lente ou a câmera usando apenas o parassol da lente.
- Mantenha limpos os contatos CPU.
- Caso a gaxeta de borracha de fixação da lente seja danificada, interrompa imediatamente a utilização e leve a lente a uma assistência técnica autorizada Nikon para reparação.
- Use um soprador para remover poeira e sujidade das superfícies da lente. Para remover manchas e dedadas, aplique uma pequena quantidade de etanol ou de produto de limpeza de lente a um pano de algodão limpo, ou um lenço de papel de limpeza de lentes e limpe do centro para fora, num movimento circular, tendo o cuidado para não deixar manchas ou tocar no vidro com o seu dedos.
- Nunca use solventes orgânicos tais como tiner ou benzeno para limpar a lente.
- O parassol ou os filtros NC podem ser usados para proteger o elemento frontal da lente.
- Acople as tampas frontal e traseira antes de colocar a lente na sua bolsa flexível.
- Se a lente não vai ser usada por um longo período, guarde-a em um local fresco e seco para evitar mofo e ferrugem. Não guarde sob a luz solar direta nem com bolas de naftalina e de cânfora.
- Mantenha a lente seca. O enferrujamento do mecanismo interno pode causar danos irreparáveis.
- Deixar a lente em locais extremamente quentes pode danificar ou deformar partes feitas de plástico reforçado.

■ Acessórios fornecidos

- Tampa frontal de encaixe da lente com 67 mm LC-67
- Tampa traseira da lente LF-4

■ Acessórios compatíveis

- Filtros de rosca de 67 mm
- Parassol de baioneta HB-32
- Bolsa flexível da lente CL-1018

■ Especificações

Tipo	Lente AF-S DX tipo G com CPU embutido e encaixe F
Distância focal	18 – 140 mm
Abertura máxima	f/3.5 – 5.6
Construção da lente	17 elementos em 12 grupos (incluindo 1 elemento de lente ED e 1 elemento de lente asférica)
Ângulo de visão	76° – 11° 30′
Escala da distância focal	Graduado em milímetros (18, 24, 35, 50, 70, 140)
Informação de distância	Saída para a câmera
Zoom	Zoom manual usando um anel de zoom independente
Focagem	Sistema **I**nternal **F**ocusing (IF - Focagem Interna) da Nikon com foco automático controlado por Motor de Onda Silencioso (SWM) e anel de foco separado para foco manual
Redução de vibração	Estabilizador da lente usando voice coil motors (VCMs)
Distância mínima de foco	0,45 m a partir do plano focal em todas as posições de zoom
Lâminas de diafragma	7 (abertura circular do diafragma)
Diafragma	Completamente automático
Faixa de abertura	• **Distância focal de 18 mm**: f/3.5 – 22 • **Distância focal de 140 mm**: f/5.6 – 38 A abertura mínima exibida poderá variar dependendo do tamanho do aumento da exposição selecionado com a câmera.
Fotometria	Abertura total
Tamanho da rosca do filtro	67 mm (P = 0,75 mm)
Dimensões	Aprox. 78 mm de diâmetro máximo × 97 mm (distância do flange de montagem da lente da câmera)
Peso	Aprox. 490 g

A Nikon reserva-se o direito de alterar as especificações do hardware descrito neste manual a qualquer momento e sem aviso prévio.

한국어

DX NIKKOR 렌즈를 구매해주셔서 감사합니다. 이 제품을 사용하기 전에 이 설명서와 카메라 설명서를 모두 주의 깊게 읽어주십시오.

주의: DX 렌즈는 DX 포맷의 니콘 디지털 일안 리플렉스 카메라 (D7100,D5200 등)용 렌즈입니다. DX 포맷에서의 촬영 화각은 35mm 판 환산으로 약 1.5배의 초점 거리에 상당하는 화각입니다.

안전상의 주의 사항

사용하기 전에 '본 설명서'를 자세히 읽고 올바르게 사용하십시오. 이 '본 설명서'는 제품을 안전하고 올바르게 사용하게 함으로써 부상 또는 재산 상의 손해를 사전에 방지하기 위한 중요한 내용이 기재되어 있습니다. 다 읽으신 후에에는 사용자가 언제나 쉽게 볼 수 있는 곳에 보관하여 주십시오.

표시에 관하여

각 표시의 의미는 다음과 같습니다.

⚠ **경고** 이 표시를 무시하고 잘못된 방법으로 취급하시면 사망 또는 부상의 위험이 있는 내용을 표시하고 있습니다.

⚠ **주의** 이 표시를 무시하고 잘못된 방법으로 취급하시면 부상을 입을 위험이 있는 내용 및 물적 손해가 발생할 위험이 있는 내용을 표시하고 있습니다.

준수해야 될 사항의 종류를 다음의 그림 표시로 구분하여 설명하고 있습니다.

그림 표시 예

△기호는 주의(경고 포함)를 알리는 표시입니다. 그림 내부, 또는 주변에 구체적인 주의 내용(좌측 그림의 경우에는 감전 주의)의 표시되어 있습니다.

⃠기호는 금지(해서는 안 되는 행위) 행위를 알리는 표시입니다. 그림 내부, 또는 주변에 구체적인 금지 내용(좌측 그림의 경우에는 분해 금지)이 표시되어 있습니다.

●기호는 엄수 사항(반드시 준수해야 하는 사항)을 알리는 표시입니다. 그림 내부, 또는 주변에 구체적인 엄수사항(좌측 그림의 경우에는 건전지 분리)이 표시되어 있습니다.

⚠ 경고

분해 금지	**분해하거나 수리·개조하지 마십시오.** 감전 혹은 이상 작동에 의한 부상의 원인이 됩니다.
접촉 금지 즉시 수리	**낙하 등으로 인한 파손으로 내부가 노출된 경우에는 노출된 부분에 손을 대지 마십시오.** 감전되거나 파손된 부분에 의한 부상의 원인이 됩니다. 카메라 전지를 분리하고 판매점 또는 니콘 서비스 센터에 수리 요청을 하십시오.
의뢰를 하십시오.	**뜨거워지거나, 연기가 나거나, 타는 냄새가 나는 등의 이상 현상 발시에는 즉시 카메라 전지를 분리하십시오.** 그대로 계속 사용하시면 화재 및 화상의 원인이 됩니다. 전지를 분리할 때에는 화상을 입지 않도록 충분히 주의해 주십시오. 전지를 분리하고 니콘 고객만족 센터에 수리를 요청하십시오.
전지를 분리하십시오	
즉시 수리 요청을 하십시오.	
액체접촉 금지	**물에 담그거나 물을 뿌리거나 비에 적시지 마십시오.** 발화 및 감전의 원인이 됩니다.
사용 금지	**인화·폭발의 위험이 있는 장소에서는 사용하지 마십시오.** 프로판 가스·가솔린 등의 인화성 가스 또는 분진이 발생하는 장소에서 사용하면 폭발 또는 화재의 원인이 됩니다.
사용 금지	**렌즈 또는 카메라로 직접 태양이나 강한 빛을 보지 마십시오.** 실명 또는 시력 장애의 원인이 됩니다.

⚠ 주의

감전 주의	**젖은 손으로 만지지 마십시오.** 감전의 원인이 될 수 있습니다.
보관 주의	**제품은 유아의 손이 닿지 않는 곳에 두십시오.** 부상의 원인이 될 수 있습니다.
사용 주의	**역광 촬영의 경우에는 태양이 화각에서 충분히 벗어나게 하십시오.** 태양광이 카메라 내부에서 초점을 형성하여 화재의 원인이 될 수 있습니다. 화각으로부터 태양을 살짝 벗어나게 하더라도 화재의 원인이 될 수 있습니다.
보관 주의	**사용하지 않을 경우에는 렌즈에 캡을 씌우거나 태양광이 닿지 않는 장소에 보관하십시오.** 태양광이 초점을 형성하여 화재의 원인이 될 수 있습니다.
이동 주의	**삼각대에 카메라 또는 렌즈를 장착한 상태로 이동하지 마십시오.** 넘어지거나 부딪쳐서 부상의 원인이 될 수 있습니다.
방치금지	**창문을 완전히 닫은 자동차 실내 또는 직사광선이 닿는 장소 등, 온도가 매우 높아지는 장소에 방치하지 마십시오.** 내부 부품에 나쁜 영향을 미치며, 화재의 원인이 될 수 있습니다.

■ 렌즈의 부품(그림)

① 렌즈 후드*
② 렌즈 후드 잠금 마크
③ 렌즈 후드 정렬 마크
④ 렌즈 후드 장착 마크
⑤ 줌 링
⑥ 초점거리 눈금
⑦ 초점거리 마크
⑧ 초점 링
⑨ 렌즈 장착 마크
⑩ 렌즈 장착 고무 패킹
⑪ CPU 접촉부
⑫ A–M 모드 스위치
⑬ 손떨림 보정 ON/OFF 스위치
*별매품

■ 초점

초점 모드는 카메라 초점 모드와 A–M 모드 스위치의 위치에 따라 결정됩니다. 카메라 초점 모드 선택에 대해서는 카메라 설명서를 참조하십시오.

카메라 초점 모드	렌즈 초점 모드	
	A	M
AF	자동 초점 (수동 초점 *)	초점 에이드를 사용한 수동 초점
MF	—	

*싱글 AF(AF–S)가 카메라 초점 모드로 선택되었을 때에만 사용할 수 있습니다.

자동 초점

1 **카메라를 AF(자동 초점)로 설정합니다.**
2 **렌즈 A–M 모드 스위치를 A로 설정합니다.**
3 **초점을 맞춥니다.**
셔터 버튼을 반누름하여 초점을 맞춥니다. 싱글 AF(AF–S)에서는 자동 초점 작업이 끝난 후 셔터 버튼을 반누른 채로 초점링을 수동으로 돌려 초점을 조절할 수 있습니다. 자동 초점 작업이 끝날 때까지 초점링을 돌리지 마십시오. 자동 초점을 사용하여 다시 초점을 맞추려면, 셔터 버튼을 반누름하거나 **AF–ON** 버튼을 다시 누릅니다.

수동 초점

1 **렌즈 A–M 모드 스위치를 M으로 설정합니다.**
2 **초점을 맞춥니다.**
렌즈 초점 링을 사용하여 수동으로 초점을 맞춥니다.

■ 광각/초광각 렌즈에 대한 참고 사항

자동 초점으로는 아래와 같은 상황에서 원하는 결과가 나오지 않을 수 있습니다. 이러한 경우에는 수동 초점을 사용하거나 초점 고정을 사용하여 같은 거리에 있는 다른 피사체에 초점을 맞춘 다음, 다시 사진의 구도를 잡습니다.

초점포인트의 주 피사체가 상대적으로 작은 경우: 멀리 떨어진 배경을 두고 서 있는 사람이 초점포인트 내에 있는 경우, 카메라는 배경에 초점을 맞추기 때문에 피사체에 초점이 맞지 않을 수 있습니다.

피사체가 다수의 미세한 디테일을 포함하고 있습니다: 차이가 별로 없거나 배경의 물체보다 더 적게 보이는 피사체의 경우 초점을 맞추기가 어려울 수 있습니다.

자세한 내용은 카메라 설명서에서 "자동 초점으로 좋은 결과를 얻으려면"을 참조하십시오.

■ 줌과 피사계 심도

초점을 맞추기 전에 줌 링을 돌려 초점 거리를 조정하고 사진의 구도를 잡습니다. 카메라가 심도 프리뷰(스톱 다운)를 제공하는 경우에는 뷰파인더에서 피사계 심도를 미리 볼 수 있습니다.

주의 초점을 맞출 거리가 짧아지면 초점 거리가 감소합니다.

■ 조리개

조리개는 카메라 컨트롤을 사용하여 조정합니다.

줌과 최대 조리개값

줌 배율을 변경하면 최대 조리개값이 최대 1⅓EV만큼 변경됩니다. 노출을 설정할 때